



やさしさと 笑顔でつなぐ 松原っ子

# まっばら

学 校 だ よ り  
令和 7 年度 第 4 号  
令和 7 年 7 月 1 日  
草加市立松原小学校



## 七夕の夜空に、子どもたちの成長を願う

校 長 佐藤 勇

夏本番が近づき、校内の木々の緑もいよいよ濃さを増す季節となりました。子どもたちは暑さの中でも、校庭で元気に遊んだり、プールで気持ちよさそうに泳いだりと元気に過ごしています。いよいよ 1 学期も残り約 3 週間となり、学習のまとめをする 7 月となりました。4 月に入学・進級した子どもたちは、この 3 か月で大きく成長しました。終業式の日には、子ども一人ひとりの成長を伝える通知表が渡されます。伸びた点は大いに認め、褒めてあげてください。課題となる点は、2 学期に挑戦する意欲を子どもたちがもてるように、ご家庭でも励ましとご指導をお願いいたします。

さて、7 月 7 日は七夕です。奈良時代に中国から伝わり、日本では宮中行事として始まりました。やがて庶民の間にも広まり、江戸時代には現在のような「短冊に願いごとを書く」風習が定着したそうです。生命力が強く、神聖な植物とされ、願いを天に届ける役割を担う「笹」に、願いを書いた短冊を飾り、願い事を空に託す日本の美しい風習が、今でも続いています。学校では笹飾りこそ行っていないませんが、子どもたちの心の中には、それぞれの夢や希望がしっかりと息づいています。七夕の歌に、

「五色（ごしき）の短冊」という歌詞がありますが、短冊の 5 色の色と、その意味をご存じですか。まず、短冊は青（緑）、赤、黄、白、黒（紫）の 5 色です。それぞれの意味は、青（緑）は「成長・努力（成長を願う）」、赤は「感謝・愛情（健康や先祖への感謝を示す）」、黄は「信頼・友情（良い人間関係を願う）」、白は「正義・純粋さ（約束や決まりを守る）」、紫は「学び・知恵（学力の向上を願う）」を表すとされています。

子どもたちがそれぞれの願いを色に込めることで、自分自身の思いを見つめ直すきっかけにもなります。「もっと速く走れるようになりたい」「友だちと仲良くしたい」「勉強をがんばりたい」など、小さな願いが日々の努力につながり、子どもたちを少しずつ成長させていきます。願いを持つことは未来へつながる第一歩。この七夕の時期に、改めて子どもたちの可能性に目を向け、よりよい成長につなげたいと思います。

どうぞご家庭でも、七夕の夜空を見上げながら、お子様の願いに耳を傾けてみてください。その願いが、これからの成長の糧となることを願っています。間もなく 1 学期も終わりとなります。保護者、地域の皆様のご支援、ご協力ありがとうございました。今後どうぞよろしくお願いいたします。

